

令和4年度（2022年度）希望の郷拠点事業報告

《老人デイサービスセンター希望の郷事業報告》

I. 事業総括

- ・お一人おひとりを個人として尊重し、長年住み慣れた地域での生活の歴史、文化に配慮しました。
- ・利用者の個性とニーズに応える個別処遇に努めました。
- ・充実感と満足感を得られるような支援を目指しました。
- ・医療機関や邑南町及び関係機関との緊密な連携体制を保つ事に努めました。
- ・利用者、家族との信頼関係を築くことに努めました。
- ・職員の介護力の強化、向上に努めました。
- ・ケアプランに沿った通所介護計画や個別機能訓練計画、運動器機能向上計画を立てて実施し、利用者様の自立に向けた生活機能の維持向上に努めました。

II. 事業目標に対する評価

1. 利用者サービスの充実

KG I（最重要目標指標）	指標の名称	指標値	実績
	目標利用者数 (定員 25 名)	6,622 名	4,620 名

新型コロナウイルス感染症拡大による事業所の閉鎖もありましたが、年間を通してご利用者の新規獲得が出来ず指標値を大きく下回りました。

2. 地域社会との関係性強化

KG I（最重要目標指標）	指標の名称	指標値	実績
	地域ボランティアの受入数	24 名	0 名

感染対策上受入れが難しい時期もありましたが、地域のニーズを把握して受入れに結びつける活動や地域の多様な主体との連携が不足しました。

3. 生産性の向上

KG I（最重要目標指標）	指標の名称	指標値	実績
	人時生産性	2.32 千円	1.71 千円
	労働生産性	4,425 千円	3,014 千円

付加価値額が計画値を大幅に下回り指標値をクリアすることが出来ませんでした。

Ⅲ. 計画事業の総括

1. サービス事業への取り組み

コロナ渦ではありましたが、職員間で業務の分担をし、感染症対策を講じながら、サービスの低下のないよう努めました。事業方針を念頭に置き自立支援介護を実践し、生活機能の維持と向上を目指しました。水分摂取、運動、排泄、食事を中心とした取り組みを行いました。具体的には湯呑の種類検討、外出、排泄介助のタイミングや回数の検討、調理実習等を行いました。

少しでも長く住み慣れた環境で、その人らしく、安心して生活していただけるよう、利用者様はもちろん、ご家族、介護支援専門員や他事業所との連絡を密にして、自立支援介護を実践いたしました。

2. 人材育成への取り組み

事業所内研修・法人内研修・外部研修に参加させていただき、各職員のスキルアップに努めました。研修にて学んだ内容を他の職員に伝える機会を設け、事業所内全体で共有できるよう取り組みを行いました。

また、自立支援介護コンサルティングにより得た知識を、業務を行いながら職員間で共有することで職員の自立支援介護への理解や実践につなげてまいりました。

3. 地域との関係強化への取り組み

新型コロナウイルス感染症対策のため、十分に注意を払いながら、外出行事や買い物等を実施いたしました。また公民館祭りでは、利用者様のデイサービスでの作品を展示していただき、デイサービスの行事として公民館祭りにも参加をさせていただきました。

4. 生産性向上への取り組み

新規ご利用者の獲得や、現利用者様の利用回数の増加のため、ご本人やご家族様、介護支援専門員への声掛け、Instagramへの投稿に注力しました。

コミュニケーションを図り、チームケアの質の向上及び人材定着に努めました。職場環境の整備や限られた人員での業務全体の流れを再構築し、現場に余力をもたせて、クリエイティブな活動や加算取得に結びつけていくことが課題です。自立支援介護に特化して品質の高いケアを実施し、ご利用者の満足度向上に努めてまいります。

5. 施設整備への取り組み

設立当初から設置・使用されていた厨房及び浴室のエアコンが経年により機能が

低下した為買え替えを行いました。

建物の建築年は、大地震に対する構造安全性の基準が大きく改正された年以前の耐震不明建築物であり、BCP計画においても整理しておく課題として、一般診断法による耐震診断を受けました。調査結果は、耐震壁の不足等により構造評点は低いものとなり、判定は最下位でした。不測の事態に備え、改めて避難訓練による避難経路や避難場所の確認など日常的な点検が重要であると認識しております。

令和4年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

1. 利用者（入所者）状況

(1) 利用率・稼働率

(単位：人、%)

定員数	計画数	実績	利用率・稼働率 差異
7,700名	6,622名(86%)	3,822名(49.6%)	△36.4%
		4,620名(60.0%) *健康サロン含む	△26.0%

(2) 利用者構成状況

(単位：人、%)

介護度別	計画数	実績	差異
健幸サロン	5名	4名	-1名
事業対象者	5名	2名	-3名
要支援 1	5名	3名	-2名
要支援 2	6名	7名	+1名
要介護 1	20名	17名	-3名
要介護 2	10名	9名	-1名
要介護 3	5名	1名	-4名
要介護 4	2名	1名	-1名
要介護 5	0名	1名	+1名
計	58名	45名	-13名

*事業対象者とは、基本チェックリスト（日常生活の様子や健康状態について把握するために 25 項目の質問で構成されているもの）を実施した結果、日常生活における何らかのリスクがあると判定された方を市町村が「事業対象者」と認定します。認定された方には、「事業対象者」と印字された介護保険被保険者証が発行されます。

2. 実施サービス

(1) 介護保険関係サービス

<自立支援>

実施事業の成果、評価	KPI	KPI 実績
<p>利用者様お一人お一人の個性とニーズに応えるケアを行いました。水分摂取、機能訓練等、それぞれの目標値を設定し、それに向かって取り組みました。</p> <p>外部講師による自立支援介護のコンサルティングを受けながら、関係する専門職種で連携を図り、自立支援の基本である「水分・運動・栄養・排泄」ケアに取り組みました。</p> <p>成果して、要介護 1 から要支援 2 へと状態がよくなった方もおられました。</p>		

<p><水分摂取支援></p> <p>利用者様に水分補給の重要性をお伝えするが十分な浸透に導くことができませんでした。水分を摂取しにくい方には工夫しながら提供を行いました。引き続き効果的な水分補給の取組みを進めてまいります。</p>	<p>目標摂取量の達成 (100%)</p>	<p>60%</p>
<p><運動能力向上支援></p> <p>トイレ誘導や散歩など日常生活の中で歩行する機会を設ける事で目標値達成に近づけることができましたが、体調により実施できないこともあり目標値を下回りました。</p>	<p>目標運動量の達成 (100%)</p>	<p>67.5%</p>
<p><給食・栄養摂取支援></p> <p>残食された利用者様に理由の聞き取りを行い調節を行いました。</p> <p>毎月各利用者様の体重測定を行い、変動が大きい利用者様には、家族様・ケアマネに報告し体調管理、状態維持・改善に努めました。</p>		
<p><体調維持・改善支援></p> <p>利用者様や家族様から体調の聞き取りを行い、ご利用時にはバイタルチェックを行いました。介護員が行った場合、看護師へ報告・相談してその後の変化に注意し見守りました。</p> <p>S P O 2 の測定が必要な利用者様は来所時に測定し、数値の確認を行い体調維持に努めました。また、利用者様の体調は職員間で情報を共有し対応いたしました。これにより病態の早期発見・維持に繋がりました。</p> <p><口腔衛生支援></p> <p>歯ブラシを持参するよう呼びかけを行い、食後には口腔ケアの声掛けを行い、必要な方には介助をしました。また、食欲のない方・食事に時間を</p>	<p>状態維持・改善率 (70%)</p>	<p>97%</p>

<p>要する方は、口腔内を確認し異常がないかを確認しました。</p> <p>レクの際に口腔ケアの重要性についての話を交え、利用者様に理解していただけるよう努めました。</p> <p><排泄支援></p> <p>紙パンツの着用率の減少を図る為ご利用者様の状態に応じた支援方法を設定し、職員間で周知し統一したケアを行いました。</p> <p>尿意・便意がある際は、トイレ誘導を行うことはもちろん、利用者様の排泄のタイミングを検討しながら誘導の回数を増やしパット交換・紙パンツの交換回数を減らすよう努めました。尿意のない方にも入浴前・食後等動く時間に合わせて声掛けを行いました。</p> <p>リズムやサインによる早めの誘導や、トイレ使用回数を増やす事で失禁が減ってきましたが、ご家族の介護負担等も原因となり、目標とする数値には至りませんでした。</p>	<p>紙パンツ 着用率 ゼロ</p>	<p>22.4%</p>
--	----------------------------	--------------

<認知症ケア>

実施事業の成果、評価	KPI	KPI 実績
<p>認知症状のある利用者様に対して、家族様の状況、利用者様の特質等考慮し、可能な限り在宅生活を維持できるよう他職種で連携を取りながら個別ケアの実施を行いました。</p> <p>タオルたたみ、洗濯物干し、畑仕事など自宅で行ってきたことをデイサービスでも行って頂き在宅生活を維持できるようケアを実施しました。</p> <p>自立支援介護の考え方から、水分摂取、運動、排泄、栄養のケアにも力を入れながら、脳トレ等、脳の活性化にもつながるようなケアを実施しました。</p> <p>また、利用者様の状況を職員間で共有し、統一した声掛け、支援を行いました。</p>		

<p>利用者様の「できること」の実現を支えその人らしさを引き出すことを目指したケアを行いました。</p> <p>役割を持って作業を行っていただくことで、利用者様が責任を持って行おうとされる姿が見られ、できる事を提供することによって集中して取り組まれる姿も見られました。</p>		
--	--	--

(2) 介護保険外サービス

< 健幸サロン事業 >

実施事業の成果、評価	KPI	KPI 実績
<p>介護認定を受けていない方を中心に定期的な利用ができることで地域の方の憩いの場を提供しました。また、利用回数が決まっている介護予防・日常生活支援総合支援の方の追加利用で、在宅生活が維持できるよう個別機能訓練などのサービス提供を行いました。</p> <p>ここでも、水分摂取量・運動量の増加・栄養状態の維持を意識して、自立支援介護を実践することで、身体機能の改善だけでなく高齢者の社会参加や生きがいにもつながるよう努めました。</p> <p>利用者様には喜んでいただき、目標利用者数を超えることができました。</p>	利用者数 5名を維持	利用者数9 名(要支援者等含む)

3. 人員体制の状況（常勤換算）

（単位：人）

役職	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
所長	1(0.5)		1(0.5)			
生活相談員	(1.0)		(1.0)			
看護師	1(0.7)	1(0.3)	1(0.7)	1(0.3)		
機能訓練指導員	(0.3)	1(0.7)	(0.3)	1(0.7)		
介護員	2(1.5)	6(3.15)	2(1.5)	6(3.15)		
厨房職員		4(1.5)		4(1.5)		
運転手		2(0.3)		1(0.3)		-1
計	4(4.0)	14(5.95)	4(4.0)	13(5.95)		-1

正規職員不足分は、多職種連携及び非正規職員でカバーしました。

【人財育成事業】

（1）事業所内研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
感染症対策について	全職員	7名	感染症・衛生管理の知識と心構え、予防の重要性を確認致しました。
避難訓練・消火訓練実施	全職員	(1回目) 6名 (2回目) 7名	安全避難の訓練を行い、関連設備の再確認を行いました。
送迎について	全職員	5名	マニュアルの再確認と、利用者様の乗降車時の注意点を共有しました。
救急対応について	全職員	8名	消防署の方に来ていただきAED を使ったの指導を受けました。
認知症の理解について	全職員	5名	認知症基礎研修に参加した職員が、その内容を事業所内で他の職員に伝えました。
虐待防止について	全職員	5名	どのようにすれば虐待に発展するまでに防ぐことができ

			るかを確認し、発生した時の対応も共有しました。
--	--	--	-------------------------

(2) 事業所外研修 (外部派遣研修)

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
認知症介護基礎研修	介護職員	1名	認知症介護について、基本的な知識・技術、実践する際の留意点を確認しました。

計画では口腔ケア研修とありますがコロナウイルス感染症対策のため控えました。

(3) 事業所間研修

研修名	対象者	参加者数	実施した内容・成果
ハラスメント研修	全職員	2名	ハラスメントをなくすことで一人ひとりの職員が相手を思いやり心の健康が維持できるよう職員環境作りを行いました。
人権擁護研修	全職員	2名	まず自分自身のことを知り、そのうえで権利擁護と福祉従事者の役割、権利侵害としての虐待防止策について学びました。

【地域との関係強化への取組み】

実施した事業	事業内容・成果等	KPI
ボランティアの受け入れと地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館祭りへ、デイサービスでの作品を出展し、当日には外出の行事として公民館祭りに参加いたしました。 ・ドライブや買い物等、外出をしていただきました。毎週、ハーモニーハウスさんや他のパン屋さんに販売に来ていただきました。 ・コロナウィルス感染症拡大のタイミングと重なり、予定していたボランティアは中止とさせていただきます。 	

【生産性向上への取組み】

(1) 事業規模拡大への取組み

事業規模拡大には至りませんでした。要介護者の動向やニーズの多様化を研究し、引き続き地域におけるサービスの拠点としてどのように機能していくか課題となります。

(2) 稼働率向上への取組み

営業展開が不足し利用者の獲得に至りませんでした。要介護高齢者の身体的自立の回復を支援する取組みに軸足を置き、自立支援介護のケア実践を繰り返し、その手法を確立させ差別化を図ってまいります。

(3) 新規加算取得への取組み

取得計画	取得加算（実績）	実績評価
入浴介助加算Ⅱ（既存） 個別機能訓練加算Ⅰロ（既存） 運動器機能向上加算（既存） 処遇改善加算Ⅰ（既存） 特定処遇改善加算Ⅱ（既存） 事業所評価加算（既存） 認知症専門ケア加算Ⅰ（新設） サービス提供体制強化加算Ⅱ（新設） 科学的介護推進体制加算（新設） 生活機能向上連携加算（新設） 口腔・栄養スクリーニング加算（新設） 口腔機能向上加算（新設） ADL維持等加算（新設） 若年性認知症利用者受入加算（新設） 生活相談員等配置加算（新設） 中重度者ケア体制加算（新設）	入浴介助加算Ⅰ（既存） 個別機能訓練加算Ⅰイ（既存） 運動器機能向上加算（既存） サービス提供体制強化加算Ⅲ（既存） 処遇改善加算Ⅰ（既存） 特定処遇改善加算Ⅱ（既存） 科学的介護推進体制加算（新設）	L I F E を取得し、科学的介護推進体制加算をとりました。

【施設整備事業】

実施した施設整備等	実施した内容等
エアコン交換	長年使用しているため機能が低下し、また感染症対策の為、空気清浄機能のあるエアコンに交換いたしました。
洗濯機交換	長期使用により機能低下がみられ修繕するも部品の在庫が無い為買替を致しました。
毛布・タオルケット・枕など	長期使用により汚れやほつれが生じており、枚数もいるため購入いたしました。
携帯電話	災害や送迎時等の緊急時に備え購入致しました。
雨樋修繕工事	長期使用や雨風による破損があり雨樋の機能が損なわれておりましたので修繕致しました。
(計画外の施設整備等) コピー機の更新	長期使用しており、故障のため使用できなくなり更新いたしました。

【積立の状況】

(単位：千円)

積立目的	計画	実績
再建設	4,800	0
大規模修繕	0	0
その他	200	0
計	5,000	0

計画通りの収益が確保できず積立を行うことができませんでした。

【感染症・災害への対応への取組み】

事業所内で感染症対策の研修を行い、予防の重要性を周知いたしました。また、職員は定期的に抗原検査を実施し、事業所内の消毒や換気、バイタル測定を行い、感染症の対応を行いました。災害への対応としては、随時緊急連絡網を確認・更新して万が一に備えました。

IV. 苦情解決(要望含む)の結果について

令和4年度において、以下の苦情が寄せられ、解決を図りました。

【苦情1】

発生日 : 令和5年1月30日

申立者 : ご利用者のご家族様

苦情内容 : 連絡帳に病院受診の結果を書いたが、印鑑のみ押された連絡帳が返ってきた。職員さんも忙しいと思いますが返事を書いていただければありがたいです。

処理結果 : しっかり内容を確認しご要望に応えるよう職員間で周知しました。

第三者委員会の関与 : 解決結果を報告済み

以 上